



2
0
2
3

新
潟
大
学

01 理念

自律と創生



学長 牛木辰男

新潟大学は、かつて「越（高志）」と呼ばれた地に育まれた敬虔質実の伝統と、幕末の開港5港の一つとして世界に開かれた海港都市（新潟市）の進取の精神を受け継ぎながら、1949年5月に新制国立大学として発足しました。新潟大学の全学の理念は「自律と創生」です。その理念のもとで、2030年に向けた本学の将来ビジョンでは、21世紀における「ライフ・イノベーションのフロントランナー」となることを目指しています。



02 新潟大学創立75周年

2024年、新潟大学は創立75周年を迎えます。

75周年記念ロゴマーク



75周年記念
特設サイト



75周年記念キャッチコピー

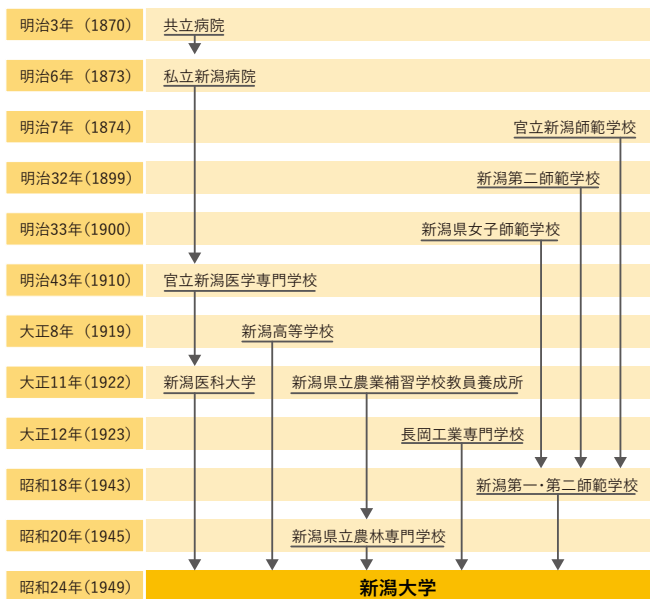
新たな挑戦 大きな貢献

03 新潟大学公式アプリ

在学生、受験生、卒業生向けの情報をコンパクトにまとめ、随時お届けしています。



04 新潟大学の生い立ち



05 組織

教育研究院

- 人文社会科学系
- 自然科学系
- 医歯学系

学部

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 工学部
- 農学部
- 創生学部

附置研究所

- 脳研究所
- 災害・復興科学研究所

医歯学総合病院

全学共同教育研究組織

- アジア連携研究センター
- 佐渡自然共生科学センター
- 日本酒学センター
- ビッグデータアクティベーション研究センター

大学院

- 教育実践学研究科
- 現代社会文化研究科
- 自然科学研究科
- 保健学研究科
- 医歯学総合研究科

別科

- 養護教諭特別別科

附属学校園

- 幼稚園
- 新潟小学校
- 新潟中学校
- 長岡小学校
- 長岡中学校
- 特別支援学校

(2023年4月1日現在)

06 学生数・教職員数

学部生数 9,992人

学部	人数
人文学部	920
教育学部	776
法学部	740
経済学部	52
経済科学部	1,421
理学部	901
医学部	1,462
歯学部	357
工学部	2,321
農学部	762
創生学部	280
合計	9,992

教職員数 2,625人

区分	人数
役員	9
教授	298(45)
准教授	358(42)
講師	68(19)
助教	360(119)
助手	6(97)
教諭	114
事務・技術 医療系職員	1,412(291)
合計	2,625(613)

大学院生数 2,076人

大学院	人数
現代社会文化研究科	
博士前期課程	117
博士後期課程	73
自然科学研究科	
博士前期課程	1,051
博士後期課程	202
保健学研究科	
博士前期課程	45
博士後期課程	40
医歯学総合研究科	
修士課程	44
博士前期課程	8
博士後期課程	12
博士課程	448
教育実践学研究科	
専門職学位課程	36
合計	2,076

別科学生数 51人

別科	人数
養護教諭特別別科	51

※特任教員等は、()により外数にて区分。

(2023年5月1日現在)

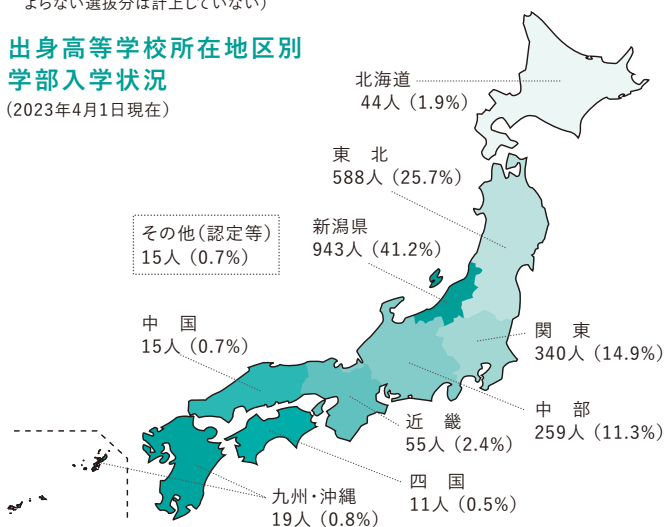
07 入学状況

学部	入学定員	志願者数	入学者数
人文学部	210	768	214
教育学部	180	428	189
法学部	170	565	175
経済科学部	350	1,242	350
理学部	200	421	210
医学部	300	1,179	302
歯学部	60	266	60
工学部	530	1,184	542
農学部	175	408	180
創生学部	65	102	67
合計	2,240	6,563	2,289

※選抜試験(公募しているもの)の選抜結果。(ダブルディグリープログラムや国費など公募によらない選抜分は計上していない)

出身高等学校所在地区別 学部入学状況

(2023年4月1日現在)



08 サークル活動所属学生数ランキング

119の各種サークルに約5,700人の学生が所属しています。

文化系		運動系	
1	管弦楽団 178人	HighQ同好会 137人	
2	音楽倶楽部 166人	新潟大学ダンスサークルMIMA 131人	
3	吹奏楽部 140人	陸上競技部 112人	

(2022年度)

09 進路・就職状況

卒業後の進路 (2022年度学部卒業生)

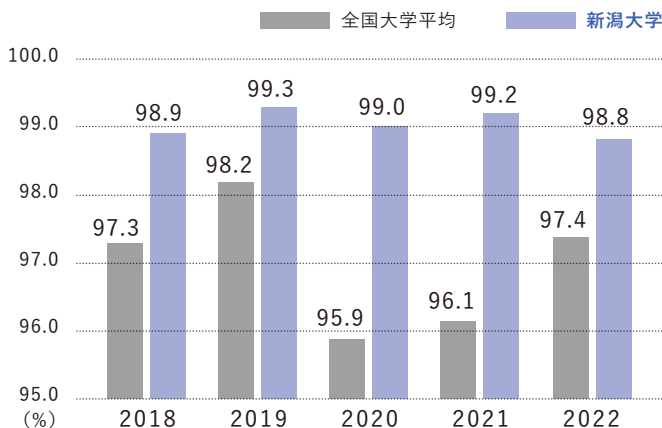
学部学科	進学	公務員	教員	就職 (医療・福祉)	就職 (左記以外)	計
人文学部	11 (5.0%)	48 (21.8%)	9 (4.1%)	2 (0.9%)	150 (68.2%)	220
教育学部	19 (9.1%)	16 (7.7%)	131 (63.0%)	2 (1.0%)	40 (19.2%)	208
法学部	12 (7.1%)	73 (43.2%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)	81 (47.9%)	169
経済学部	7 (2.5%)	61 (21.4%)	1 (0.4%)	5 (1.8%)	211 (74.0%)	285
理学部	101 (54.3%)	15 (8.1%)	8 (4.3%)	2 (1.1%)	60 (32.3%)	186
医学部医学科	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	122 (100.0%)	0 (0.0%)	122
医学部保健学科	15 (9.7%)	25 (16.1%)	0 (0.0%)	114 (73.5%)	1 (0.6%)	155
歯学部歯学科	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (100.0%)	0 (0.0%)	38
歯学部口腔生命福祉学科	1 (4.2%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)	16 (66.7%)	3 (12.5%)	24
工学部	319 (61.0%)	33 (6.3%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	170 (32.5%)	523
農学部	76 (44.2%)	34 (19.8%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	60 (34.9%)	172
創生学部	7 (12.3%)	8 (14.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	42 (73.7%)	57
計	568 (26.3%)	317 (14.7%)	150 (6.9%)	306 (14.2%)	818 (37.9%)	2,159

(2023年5月1日現在)

※医学部医学科と歯学部歯学科の臨床研修医は「医療・福祉」に含む。

※進学、就職以外の者は除く。 ※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合あり。

就職率の推移 (就職率=就職者/就職希望者)



10 学位プログラム

大学に入学すると、各学部が提示する学位プログラムで学ぶことになります。本学では、38の到達目標達成型プログラムと、到達目標創生型プログラムがあります。地域や世界の発展に貢献することを目的とし、課題解決のために広範囲に活躍できる人材を育成します。

新潟大学

学位プログラム



11 メジャー・マイナー制

本学では、「メジャー・マイナー制」を導入しています。「メジャー・マイナー制」とは、所属する学部での専門の学び（メジャー）と、自分がチャレンジしたい分野での学び（マイナー）を両立して、体系的に学修するしくみです。学修成果は、「目に見えるもの」として認証されます。この制度は、「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」として整備されています。



学部の枠を超えた
分野横断型学修

アカデミック・
アドバイザーによる
サポート体制

マイナー修了者への
修了証の発行

12 学生支援

きめ細かい相談体制

本学では、学生が充実した学生生活を送れるよう、学部の担当教員をはじめ、きめ細かい相談体制でサポートしています。

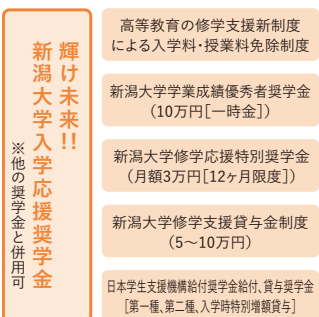


輝け未来！！

新潟大学入学応援奨学金

本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない学業優秀者に対して、入学時に必要となる学資の一部(40万円)を給付します。また加えて、自宅が遠く通学が困難な場合は、学生寮(五十嵐寮)の入居枠を優先確保します。

入学時及び在学中の経済的支援



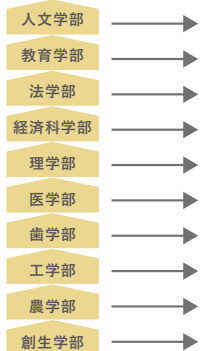
入学時

在学中

13 ダブルホーム

ダブルホームは、地域や仲間の思いを大切にしながら、正解のない地域課題に、学生・教員・職員によるチームで取り組むプログラムです。第1のホームである学部・学科という専門の学びの場を越えてつくる第2のホームで「新たなふるさとづくり」としての地域活動を行っています。

第1のホーム



第2のホーム

Double Home

18ホーム
約450人の
学生が所属



地域活動 (新潟県・山形県)

- 課題探究力・課題解決力
- コミュニケーション力
- チームワーク力・リーダーシップ
- シチズンシップ (社会に対する責任感)
- 卒業後も財産となるネットワーク

14 キャリア・就職支援

本学では、低学年向けキャリア意識形成科目の開講など、学生自身の将来を見据えたキャリア形成に対するサポートを行っています。また、就職支援については、各学部と教育基盤機構が連携して行います。機構のキャンパスライフ支援部門(キャリア・就職支援オフィス)では主に「情報提供」「進路相談」「各種支援行事」など、学生の進路や就職に対する支援を行っています。

キャリア意識形成



情報提供

- 進路情報関係資料の閲覧
- 各種情報を全員にメール配信

進路相談

- 専門スタッフによる
進路選択・就職活動の悩み、
応募書類アドバイス、
面接練習

各種支援行事

- 一年を通じて
各種支援行事を開催

学生の”できる”を育てる「CANシリーズ」

独自に開発したキャリア意識形成支援ツールを活用し、自己・他者理解を深めるとともに大学生活の充実を図り、リアルな情報を収集することで、「自分らしいキャリア」を描くことができます。

CANカード

自己及び他者の「価値観」、「勤労観」などを明確にするカード



CANカード

CANチェック

社会人基礎力を自己判断できるWebセルフアセスメント

就活ガイドブック「SAKU」

就職活動に役立つWEB版のガイドブック



就活ガイドブック「SAKU」

CANシステム

卒業生からリアルな情報を収集できるネットワークシステム

15 国際交流

外国人留学生の受け入れ

グローバルキャンパスの構築を目指して、短期(数週間)、交換留学(Semester)、学位プログラムを通じた留学生の受け入れを推進しています。

外国人留学生数 522人

(54の国・地域から/2023年5月1日現在)

※「留学」の在留資格を有する学生

外国人学生数 795人 (2022年度延べ)

※上記外国人留学生に加え、「留学」以外の在留資格を有する外国人学生を含む。

学生の海外派遣

グローバル人材育成を推進するため、目的や学習段階に応じて、学生に海外留学の機会を幅広く提供しています。2022年度は特別措置のもとで一部の派遣プログラムを再開しました。(参考: 2019年度実績 607人)

海外留学者数 147人 (2022年度実績)

(内訳)

- ・交換留学等による中長期(3か月以上)の留学 35人
- ・短期(3か月未満)の海外派遣プログラム参加等※ 112人

※調査・研究・学会参加等を含む

オンラインによる教育交流

コロナ禍における渡航型留学の代替として急速に発達した、オンラインなどICTを活用した多様な国際教育プログラムをコロナ後も継続して留学交流を促進しています。(2022年度は本学学生127人と海外協定校の学生130人がオンライン留学プログラムに参加)

交流協定

海外の大学等と交流協定を締結し、教育・研究交流に係る国際ネットワークの構築を推進しています。

交流協定数 364件

(海外43か国・地域/2023年5月1日現在)

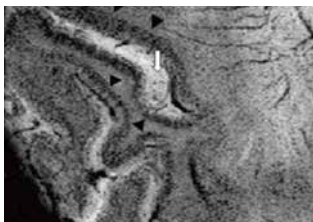


16 脳研究所

アルツハイマー病や脳腫瘍などのヒト脳疾患の病因・病理の解明を目指して、1967年にわが国で最初の脳神経に関する国立大学附属研究所として設置されました。ガンや心血管障害が克服されるのに伴い高齢化が進む現在、アルツハイマー病に代表される加齢性の脳疾患患者は倍増し、社会問題化してきたため、脳研究所は当該疾患の先進的診断方法開発、新規治療法開発に挑戦しています。



世界最大規模:3万点の凍結脳標本を保存している超低温冷凍庫



7T超高磁場MRIによるアルツハイマー病老人斑のイメージング

17 災害・復興科学研究所

積雪地域における自然災害とその対策技術の研究を目的として、前身である積雪地域災害研究センターが1978年に設置されました。現在では、日本海側唯一の総合的災害研究機関として、変容かつ激化する自然災害に対して適応能力が高いレジリエントな社会の構築を目指し、日本海側地域や積雪地域に特有な災害に焦点を当て、そのメカニズム解明と減災に関する研究を国内外の研究機関と連携して推進しています。



2022年8月豪雨による村上市小岩内地区の被害



国道8号における大雪による大規模車両滞留調査(2022年12月)

2022年度科学研究費助成事業採択状況

内定件数 775件
交付金額 約14億円(直接経費)

2022年度外部資金受入状況

区分	受入件数	受入額
共同研究	225件	633,068千円
受託研究	231件	1,905,308千円
寄附金	3,661件	1,477,039千円
合計	4,117件	4,015,415千円

18 医歯学総合病院

医科32診療科、歯科5診療科、計37診療科、827の病床を備え、地域の特定機能病院として高度かつ先進的な医療を提供しています。本院は、その理念である「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します」に基づく病院づくりを一層推進し、社会に開かれた医療を実践する大学病院を目指します。



医歯学総合病院全景



コワーキングスペース(I-DeA)

19 附属図書館

中央図書館(五十嵐キャンパス)と医歯学図書館(旭町キャンパス)で構成され、両キャンパスにおける教育研究活動を支援しています。両館に設置の「ラーニング・コモンズ」には、グループで学習するための什器や大型ディスプレイ等を整備し、主体的学習をサポートしています。



中央図書館



医歯学図書館

20 全学共同教育研究組織

アジア連携研究センター

アジア地域をフィールドにして、学内外の研究者が連携しながら、文理融合、領域横断的な研究活動を進めています。



シンガポールでのアニメ中間素材展

佐渡自然共生科学センター

森林領域（演習林）、里山領域（朱鷺・自然再生学研究施設）及び海洋領域（臨海実験所）の3つの領域・施設で構成され、地域と連携、協働しながら、新しい「自然共生科学」の展開を目指しています。



演習林の天然杉

日本酒学センター

日本酒に関わる文化的・科学的な幅広い分野を網羅する世界初の学問領域「日本酒学(Sakeology)」。

総合大学の強みを生かした領域横断型の研究を進めるとともに、新潟県および新潟県酒造組合と連携協定を締結して3者の力を結集し、日本酒に係る「教育、研究、情報発信、国際交流」に関する事業を展開しています。



大学院日本酒学コースでの酒造り(製麹)

ビッグデータアクティベーション研究センター

高度デジタル社会における分野融合研究、人材育成、産学連携の推進を加速することを目的に、大規模データからの新たな知識の創発とヒューマンネットワークの活性化（アクティベーション）をらせん状に組合せ、学内外におけるイノベーションの実現を目指しています。



大学院講義「データサイエンス概論」

21 キャンパスへのアクセス

■五十嵐キャンパス

[JR]

JR新潟駅一（越後線/20分）→ JR新潟大学前駅 →（徒歩/15分）

[新潟交通バス]

JR新潟駅前万代口バスターミナル一（新潟大学行き/45分）→
新大正門 →（徒歩/1分）

[タクシー]

JR新潟駅一（30分）→ 五十嵐キャンパス

■旭町キャンパス

[JR]

JR新潟駅一（越後線/5分）→ JR白山駅 →（徒歩/10分）

[新潟交通バス]

JR新潟駅前万代口バスターミナル一（信濃町行き/15分）→
市役所前 →（徒歩/3分）

[タクシー]

JR新潟駅一（10分）→ 旭町キャンパス

■新潟空港→JR新潟駅

[新潟交通バス]

新潟空港一（新潟駅前行き/30分）→ JR新潟駅

[タクシー]

新潟空港一（20分）→ JR新潟駅

アクセスマップ



新潟大学2023

編集・発行／新潟大学広報事務室

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL.025-223-6161(代表)

<https://www.niigata-u.ac.jp/>

新潟大学

検索



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY